

細河地域 コミュニティ ニュース

第23号

細河地域コミュニティ推進協議会
〈細河〉
NPO法人 細河みどりの郷
〒563-0013 大阪府池田市中川原町216-2
TEL/FAX 072-754-5711
E-mail:hcms@iris.eonet.ne.jp
URL <http://www.eonet.ne.jp/~midorinosato/>



第8回 細河フェアー開催しました。



大根種まき



今回のテーマ

細河一の大根を育てよう!

1回目 体験学習

日時 9月1日(土)9時~11時
場所 細河コミュニティセンター
及び近隣畑
内容 ●大根種まき
●クラフト
●昔遊び
参加者数 児童4名 保護者2名
スタッフ4名
協議会会員4名
関係者6名
合計参加者20名



昔遊び



大根間引き



2回目 体験学習

日時 9月15日(土)
9時~12時
場所 細河コミュニティセンター
及び近隣畑
内容 ●大根の間引き
●クラフト
●昔遊び
参加者数 児童4名 保護者2名
スタッフ4名
協議会会員4名
関係者10名
合計参加者24名

クラフト



大根収穫



メインイベント

日時 12月2日(日)
9時~12時
場所 細河コミュニティセンター
及び近隣畑
内容 ●大根収穫
●料理大試食会
参加者数 児童59名 保護者14名
スタッフ12名
協議会会員11名
関係者12名
合計参加者108名

第8回 細河フェアー参加者
参加延人員 152名

(児童・保護者・学生スタッフ・
教員・市関係者・協議会会員)

大試食会





新年及び就任のご挨拶

ほそごう地域コミュニティ推進協議会(細河地区)

会長 中尾 好美

平素はコミュニティ活動にご理解ご協力を頂き有難うございます。平成三十年総会に於きまして会長を拝命しました。歴代会長が進められてきた事業の継続と、地域性を生かした新たな事業を、模索して行きたいと思えます。「次世代との交流」「余野川や棚田、里山での自然体験」「高齢者や子育てへの、声掛け配食」「細河フェア」での学校給食食材提供」と色々な事業を行



なっています。皆様の意見を聞き細河地域ならではの取組をしてまいります。興味の有る方は是非「細河みどりの郷」事務所へ、お声掛け下さい。



池田市地域分権活動十年の歩み

特定非営利活動法人(NPO法人)

理事長 秦 孝雄

今上天皇最後の輝かしい新年を、ご健勝にてお迎える事と、お慶び申し上げます。

地域分権の条例は、平成十八年に成立し、平成十九年には細河地域コミュニティ推進協議会を自治連合会・実行組合連合会の肝いりで設立し、活動開始以来十年を迎えました。

事務所開設後、この十年間細河地域の良いところを住民にアピールし、来て見てふれ合い活動で、細河の活性化を行ってきました。現在、細河小学校は、統廃合され少子高齢化の最前線にあります、我々協議会・NPO会員も高齢化しています。

定年退職された方々のシルバー人材センターと思いい、お気軽に「細河みどりの郷」事務所遊びに来て下さい。

幼児から小・中・高・大学生との交流も多く有りますので、第二の人生教室を楽しんで下さい。



NPO 事業活動

教育事業



地域観光事業



住宅・環境事業



福祉配食事業



総務事業



広報事業



大阪で一番！「世界に誇れる安全で安心なまち池田」をめざして!!

防犯・防災

細河地域 犯罪・災害発生状況		H30/1/1 ~ 10/31	
犯罪		災害	
●空き巣・侵入	0 件	●交通事故	24 件
●バイク・自転車盗難	2 件	●火災	3 件
●自動車盗難	0 件	●台風(大型)	2 件
●車上ねらい	2 件	●地震(大阪北部)	1 件
●自動車部品ねらい	0 件	●水害	0 件
●ひったくり	0 件		
●その他	5 件(事務所・店舗荒し4件 万引き1件)		



細河地域の防災危機管理に思う

投稿コーナー
.....
吉田町 Y氏



近年、日本列島のあらゆる所で火山噴火・地震・津波・大型台風・集中豪雨・竜巻など頻繁に発生しています。

あつてはならない事ですが、この細河地区も余野川や猪名川の氾濫や崖崩れなどの惨事が発生した時、どのような危機管理の備えがあるのか？またないのか？

災害発生時には「自助が一番」となっていますが、睡眠中とっさに起きた時、迅速に判断し行動に移せるのか？

阪神淡路大震災では細河地域も多大な被害を受けました。

防災知識だけでなく、日ごろからの避難訓練等も必要ではないでしょうか。

地域各団体間で連携をとり避難訓練を実施して頂きたいと思います。



地域イベント

第4回

細河地区三二運動会

開催されました



開催日時 平成30年10月7日(日)
9時30分～12時


場所 旧細河小学校 体育館

参加者 155名
(競技参加者・応援者125名
スタッフ30名)



プログラム

- ◎大玉運び
- ◎綱取物語
- ◎壁ドンリレー
- ◎デカパン競争
- ◎食わえてGO!!
- ◎紅白玉入れ




主催 池田市教育委員会
主管 細河地域スポーツ推進委員
協力 旧細河小学校開放運営委員会
旧細河住民運動会事務局

問い合わせ 教育委員会生涯学習推進課
☎072-754-6480



ええとこ 社会福祉法人大協会 特養ハートフルふしお & 地域密着型特養ハートフル紅葉館



↑ ハートフルふしお & ハートフル紅葉館
一生寄り添って

特養ハートフルふしおは、平成4年創設以来27年が経過し、地域の福祉拠点として発展してきました。また、この度地域密着型特養ハートフルふしお紅葉館18床を新設します。多床室と併せてユニット型特養を併設することにより、入居される方の要望に応えられる多様な施設になります。

また、伏尾包括支援センターでは、行政のワンストップサービスの機能を果たすとともに、年を取っても、地域で安心して暮らしていけるよう、介護予防に力を入れています。



↑ 秋祭り神輿・わっしょい

- 施設概要**
- 経営 社会福祉法人 大協会
 - 定員 84名 ショートステイ16名
 - 建物 地下2階 地上3階 (鉄筋コンクリート造)
 - 部屋 個室・4人部屋・ダイニング・入浴施設・スタッフルーム・機能訓練室等



↑ クラブ活動 書道 (生きがいを持って)



↑ 地域で…健康体操



↑ 秋祭り… 浪谷高校のよさこい部と

細河歴史・文化遺産

細河歴史街道 町名の由来「木部町」

平安時代に登場

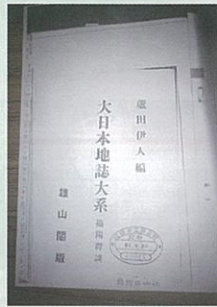
1995年、1月1日号の「広報いけだ」1面に大きく掲載された「摂州細川荘大絵図」。大変興味深い絵図であったことを記憶されている方も多いと思います。

縦93.2センチ、横185.3センチの大絵図には長久3年(1042)の年号が入っていました。その年号の横に「摂州細川庄四至方至繪図」と入っていることから、長久3年当時の細川庄という荘園の範囲を示していることが分かります。また、この大絵図には名称が入っていませんが、猪名川が大きく描かれ、現在と同じように木部と古江の間で久安寺川と合流していることが分かります。さらに木部、東山、吉田、古江の各集落なども現在とほぼ同じ位置関係に描かれています。これらのことから、平安時代のころから木部の集落があったことがわかります。

絹舒里から木部(きべ・きのへ)へ

元禄14年(1701)に発行された「摂陽群談」では巻第9「里の部」の最後に「絹舒里」を挙げ、次のように紹介しています。

「摂陽群談」



「同郡木部村を指り、方角池田に近し。所傳伝、呉織、穴織ニ女神、此里に於いて、絹を舒曝し給ふ處なり。困つて絹舒里と申す。一説、絹舒を略して、木部と成ると伝へり。」

言い伝えによると、アヤハトリ、クレハトリの織り姫が、この里にやって来て機械織りや染色をし、猪名川で水洗いして河原で絹を晒したので、絹舒里というようになり、これを略して木部というようになったとのこと。この伝承から、猪名川に架かる橋は「絹延橋」と名付けられ、大正2年4月に能勢電鉄が能勢口から一の鳥居まで開通したと



伊居太神社



タカラ山



「大阪府池田市土地宝典」



現在の木部町

隠れ里の伝承

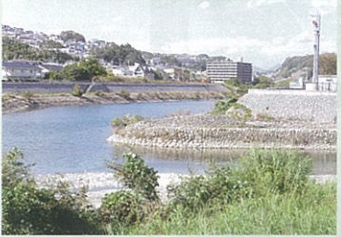
「摂陽群談」には「絹舒里」と並んで、「隠れ里」が次のように説明されています。「同郡同所の南、池田の北にあり、所伝云、往昔此の地に長者あり萬宝家に充満て、求めるに不足と伝事なしと云えども、終に亡失て、名のみ隠れと云へり。今も於干是、物を捨者必幸ありと云習せり。」

この場所は五月山の先端部に伊居太神社がありますが、その裏山から木部にかけてのところがそうです。昭和14年(1939)発行の『大阪府池田市土地宝典』(大日本帝国市町村地図刊行会)を見ると、木部の山麓に「タカラ山」という地名(小字名)があります。この隠れ里と「タカラ山」は大いに関係ありそうです。

木部村の名称は、江戸時代以前から長い間続いてきました。明治以降、昭和19年になって、細河の村々と同時に大字名を廃して、木部町が誕生しました。現在、阪神高速池田線が猪名川沿いに敷設され木部町の三叉路付近が出入り口になり、昔の景観が大きく変わってきました。



摂州細川庄大絵図



猪名川と久安寺川の合流地点



木部集落



猪名川の河原



絹延橋



案内地図